**平成28年度 野田市関宿心身障がい者福祉作業所指定管理者
管理運営状況調書**

担当課 障がい者福祉課

評価基準	評価項目	指定管理者 自己評価	担当課評価	特記事項
利用者の平等利用が確保されること	①平等利用確保への取組	B	B	
施設の効用（設置目的）が最大限発揮せれるものであること	①サービス改善への取組	B	B	
個人情報の適切な保護が図られていること	①個人情報保護の取組	B	B	
緊急時の危機管理体制が確立されているか	①緊急時の危機管理への取組	B	B	
	②利用者の安全確保のための取組	B	B	
苦情や要望に対する受入体制が確立していること	①要望、苦情への取組	B	B	
有効な就労支援の提供が図られていること	①有効な就労支援の提供	B	B	
現金の取扱い等の経理処理が適切に行われていること	①現金の取扱い	B	B	
管理経費の縮減が図られるものであること	①指定管理に係る収支見込について	B	B	
	②経費縮減のための取組	B	B	
事業計画に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	①人員配置について	B	B	
	②職員の指揮監督、管理体制について	B	B	
	③人材育成の取組状況	B	B	
<p>総合所見 利用者の障がいの特性に合わせたうえで、安心して作業に取り組めるように配慮され、利用者も徐々に増えている。その努力もあり、県基準の規定の定員を満たし、平成29年4月1日から指定障害福祉サービス事業所に移行することとなった。 このほか、保護者会の開催に合わせて保護者と個別面談を実施し、それぞれに近況や意見を聞くなどの努力もみられ、施設サービスも計画どおり提供されている。 なお、社会福祉法人は一とふるの経営状況については、27年度分の事業活動収支計算書（損益計算書）では、法人全体の経営収支が、約13,474千円の黒字となっていることから経営が安定している。</p>				